

令和8年度第1回南相馬市三区
(小高区・鹿島区・原町区)合同地域協議会 会議録

＜地域協議会の日時・場所＞

1. 日 時:令和 8 年4月16日(木)
午後 1 時 30 分～午後3時30分
2. 場 所:万葉ふれあいセンター大ホール

○鹿島区

【出席委員 14名】

会 長	高 野 邦 弘	委 員	草 野 繁 春
副会長	但 野 治 秀	委 員	鈴 木 清 教
委 員	今 野 愛	委 員	小倉タカ子
委 員	太田真樹子	委 員	塙 龍 太 郎
委 員	後 藤 英 之	委 員	大河内俊樹
委 員	浜名美恵子	委 員	草 野 禎 夫
委 員	佐 藤 慎 治	委 員	豊田真由美

【欠席委員 1名】

委 員 北 元 幸 一

○小高区

【出席委員 14名】

会 長	志賀由紀夫	委 員	和 田 菜 子
副会長	門 馬 保 行	委 員	末 永 義 人
委 員	末 芳 治	委 員	小 林 友 子
委 員	飯 塚 宏	委 員	半 谷 善 弘
委 員	杉 重 典	委 員	本 田 博 信
委 員	半谷恵美子	委 員	村 上 朝 晴
委 員	熊田めぐみ	委 員	堀 内 洋 伯

【欠席委員 1名】

委 員 木 村 綾

○原町区

【出席委員 12名】

会 長	平 間 勝 成	委 員	栗 原 尚 希
副会長	萱 山 隆 敏	委 員	中 村 博 之
委 員	逢 坂 晃	委 員	関 場 直 隆
委 員	坂 下 悦 子	委 員	藤 原 珠 世
委 員	佐 藤 吉 徳	委 員	伊 藤 佳 江
委 員	佐 藤 哲 也	委 員	鈴 木 香 織

【欠席委員 3 名】

副会長	志賀ゆかり	委 員	前 田 一 男
委 員	鎌 田 文 代		

●南相馬市職員

南相馬市長	門 馬 和 夫
南相馬市副市長	丸 山 光 清
南相馬市副市長	常 木 孝 浩
南相馬市教育長	伏見伸一郎
鹿島区役所長	武 田 智 芳
小高区役所長	佐 藤 克 巳
復興企画部長兼原町区役所長	渡 辺 裕
総務部長	猪 狩 忠 信
復興企画部理事	吉 田 昌 弘
市民生活部長	中 本 直 記
健康福祉部長兼福祉事務所長	山 田 勇 人
こども未来部長兼福祉事務所長	原田美津子
商工観光部長	寺 島 政 博
商工観光部理事	吉川雄一郎
農林水産部長	前 田 伸 吾
建設部長	佐 藤 寿
総合病院事務部長	森 修 一
総合病院経営企画担当部長	小野田克子
教育委員会事務局長	宝 玉 光 之
小高区地域振興課長	高 野 真 至
鹿島区地域振興課長	星 憲
くらし安全課地域コミュニティ担当課長	木 幡 孝 行
小高区市民総合サービス課長	渡 辺 和 宣
鹿島区市民総合サービス課長	志 賀 弘 達
小高区地域振興課庶務担当係長	渡 邊 幸 以

鹿島区地域振興課振興担当係長
くらし安全課コミュニティ推進係長
鹿島区地域振興課主事
小高区地域振興課副主査
コミュニティ推進係副主査
財政課長
財政課財政係課長補佐

大和田智之
北 原 繁
神 戸 侑 美
酒 井 亮 輔
酒 井 優
藤 原 央 行
菊 地 康 明

1.開 会

○星課長 委員の皆様には、お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまより、令和8年度第1回南相馬市地域協議会合同会議を開会いたします。本日の進行を務めさせていただきます、鹿島区地域振興課の星です。よろしくお願いいたします。

2.委嘱状交付

○星課長 初めに、委員の紹介及び委嘱状の交付を行います。紹介は鹿島区・小高区・原町区の順にそれぞれ行いますので、お名前を呼ばれましたら、恐れ入りますが、その場でご起立くださいますようお願いいたします。
なお、欠席の方を含めてご紹介させていただきます。

(1)鹿島区

まず、はじめに、鹿島区地域協議会委員の皆様をご紹介します。

委員一覧(鹿島区)読み上げ

鹿島区地域協議会委員の皆様を代表しまして、但野 治秀様に、委嘱状を交付いたしますので、前へお進みください。

但野委員が市長の前に進み、委嘱状交付

(2)小高区

続きまして、小高区地域協議会委員の皆様をご紹介します。

委員一覧(小高区)読み上げ

小高区地域協議会委員の皆様を代表しまして、志賀 由紀夫様に、委嘱状を交付いたしますので、前へお進みください。

志賀委員が市長の前に進み、委嘱状交付

(3)原町区

続きまして、原町区地域協議会委員の皆様をご紹介します。

委員一覧(原町区)読み上げ

原町区地域協議会委員の皆様を代表しまして、萱山 隆敏様に、委嘱状を交付いたしますので、前へお進みください。

萱山委員が市長の前に進み、委嘱状交付

○星課長 委員の皆様方には、2年間、ご協力をお願い申し上げます。

3.市長あいさつ

○星課長 続きまして、市長よりご挨拶を申し上げます。

門馬市長よりあいさつ

4.職員紹介

○星課長 続きまして、本日の出席職員を紹介いたします。

門馬市長・副市長・教育長・区役所長・部長・課長の順に紹介

5.地域自治区及び地域協議会の概要について

○星課長 地域自治区及び地域協議会の概要について事務局から説明します。

資料に沿って説明(原町区地域振興課)

○星課長 説明は以上でございます。なお、地域協議会は、会議終了後、市のホームページに当日の会議資料、議事録を掲載いたしますので、よろしく願います。

それでは、ただいまの説明に対して、ご質問があればお願いします。

(質疑・応答)

なければ、5. 地域自治区及び地域協議会の概要について終了いたします。

6.各区での議事

○星課長 各区での議事に移ります。議事の進行の方法について、ご説明いたします。地域協議会の設置等に関する協議書により、会長・副会長につきましては、委員の互選となっております。小高区は農事研修室へ、原町区は生活改善室へご移動をお願いします。鹿島区はこの場でお待ちください。会長・副会長、及び本日の議事録署名人を選出してください。各区、議事録署名人の指名まで終了しましたら、この会場へお集まりいただき、事務局まで選出結果をご連絡いただきたいと思います。それでは、ご移動をお願いします。

各区に分かれての議事

7.議 事

○星課長 それでは、各区の会長・副会長が決まりましたので、ご紹介いたします。

・鹿島区地域協議会

会 長 高野 邦弘 様

副会長 但野 治秀 様

・小高区地域協議会

会 長 志賀 由紀夫 様

副会長 門馬 保行 様

・原町区地域協議会

会 長 平間 勝成 様

副会長 志賀 ゆかり 様

○星課長 続きまして、議事録署名人の指名に移ります。

鹿島区は今野 愛委員、小高区は門馬保行委員、原町区は萱山隆敏委員にお願いいたします。

なお、本日の出席委員は、鹿島区地域協議会14人、小高区地域協議会14人、原町区地域協議会12人の出席であり、各区地域協議会とも過数を超えておりますので、本日の3区合同会議は成立していることを報告いたします。

それでは、次第7の議事に移ります。議事の進行については、地域自治区の設置等に関する協議書の規定により、会長が会議の議長となりますので、開催区である鹿島区の高野会長、議事の進行をよろしくお願いいたします。

○高野会長

～会長あいさつ～

(1) 報告事項

① 令和8年度南相馬市一般会計当初予算の概要について

○高野会長 それでは、報告事項①の「令和8年度南相馬市一般会計当初予算の概要について」議題といたします。担当課より説明をお願いします。

≪ 財政課 資料 により説明 ≫

- 高野会長 事前に委員の皆さまには資料をお送りし、質問票をご提出いただいております。いただいた質問に関しましては、本日お配りしております令和8年度南相馬市一般会計当初予算の概要について、質問・回答一覧をご覧ください。回答一覧に対する質問及び、先ほどご説明した内容に関する質問をお受けいたします。なお、質問については、多くの委員の方からお受けしたいので、おひとり3問までとさせていただきます。質問はないですか。
- 平間勝成委員 国際バカロレア教育について、認定、申請や年会費に費用がかかると読み取れるんですが、全体に広げていくとなると相当な予算を計上が必要となるが予算の見通しはありますか。
- 教育委員会事務局 教育委員会では、原町三小を研究開発校として指定していて、中学についても一校指定していく予定です。認定については、小学校で1校、中学校で1校という形で進めていく考えでございまして、全学校に対してのその費用が全てかかるということではございません。考え方をまず研究開発校の方で研究を行った上で各学校に反映させていくというような形になります。
- 平間勝成委員 原町三小の話出ましたけども、実際にその学校に認定するために多額の費用がどのぐらい掛かってるんですか。
- 教育委員会事務局 負担金については、166万1000円。これに研修や視察費用が24万円ということで、今回予算計上しているところでございます。
- 平間勝成委員 私が聞いた認定というか登録料みたいな形で300万ぐらいは、違いますかね。
- 教育委員会事務局 現時点では小学校の費用になりますので、今後、中学校が1校増えるというような形であれば300万を超える負担金という形になります。
- 高野会長 ほかに質問ないですか。
- 鈴木清教委員 南相馬チャンネルについて、放送開始から12年たちますが、いまだに各家庭で受信が出来ない家庭があると地域の方から言われます。一般家庭で受信していますが、やがてYouTubeになるんですよね。そうするとパソコンが必要になってきます。そうではなく一般家庭で誰もが受信でいるような事業を取り入れていただきたいと思っています。議員さんにも活動をしていただきたいと思っています。それから二点目、赤松関係になりますが、一番お願いしたいのは生活道路関係で、事故に遭った場合の場合誰が責任もつのか。国道は赤松の伐採しているようですが、

市道については伐採されていない。危ないので事故のないように取り組んでもらいたいです。

もう3点目、予算について、特老施設があると思いますが、もう少し利用しやすいようにしてほしい。国民年金事情だと思いますが、入居に10万かかることがあるそうです。いろいろ含めると25万かかると聞いたことがあります。行政で対策してほしいですがいかがですか。

○市長 まず南相馬チャンネルの話ですが、南相馬チャンネルをテレビで見れるということが全国にも珍しいです。普通のテレビで南相馬のいろんなイベント内容が動画とか説明で見れるという素晴らしいものです。これは復興事業ということで国のお金が入ってできました。アンテナとか基地だけで私の記憶で正確ではないかもしれませんが、10億円以上のお金がかかっています。年間の番組を作ることに、維持費等を入れると7000万円ものお金がかかっています。そのお金は全部国費で出してもらっていました。震災が起きて大変だったことから、最初は避難した人に情報を届けるために、次に市内で一人暮らしをしている方やいろんな市民の方に、市内のことを教えることが必要ということで、国でお金を出してくれています。しかし全部国でお金出している、アンテナに限度があるため、映らないところもある状況です。家で見れない状況に対応するとなると、国も復興事業を見直すため、もういいですよと言われる。今年度まではお金を出すと言ってもらっていますが、来年はもう駄目だと言われている。そういう中で、毎年7000万円のお金を出すことは極めて困難です。7000万円出して、市民全員が見れるようになるならいいかもしれないが、どうやっても半分近くの人が見れない状況です。

一方で、インターネットが大部普及してきました。今年は、区長さんにタブレット配布をするということで、インターネットで連絡することも始めようとしています。皆さんの家でも、大体7割8割ぐらいはインターネットが入っています。ここに記載しているのは、国の補助もなくなるというのが正直ありますし、今年いっぱいまでは続けます。来年はおそらくやめるようになります。しかし紙に戻るのは辛いし動画とかで見たいですよ。なのでインターネットで見れるようにしたいと思います。だけでもインターネットの使い方がわからない、何回か操作しなきゃならないということがありますよね。ですから、その辺は説明会を開くとかこうすれば見れますなど、どうやったらスムーズに変換できるのか、これから具体的に皆さんにお示ししていきます。ということで、テレビをつけるとチャンネルで見れるというのは今年いっぱい来年まで頑張れるかどうかという状況です。ぜひインターネットに切り替えますので、皆さんもご理解いただきたいと思います。

松食い虫について、ずっと松くいを増やさないように、ちょっと兆候があると切って予防することをやってきましたけれども、正直ギブアップです。福島県全体が予防では無理で、蔓延してるということで、枯れてるやつを危ないところを切り、交通事故にならないように危険木を除去することに県全体で切り替えました。南相馬市もその

ようにいたします。ですので、道路に赤いテープがあつたり、道路脇の松に赤いテープ貼つてあつたり、山中の道路下など切る準備をしています。こういうふうに切り替えていきます。松くい虫にやられているまんまで、台風で倒れたら危険な状態ですので、残念ながら広げることことは、ほぼ不可能な状態。そのためにこのように展開いたします。

そして、お年寄りにお金あまりかかってない、子育てばかりと感じているんですよ。気持ちもわかります。ここでちょっと、数字を申し上げます。冊子「100年のまちづくり」7ページを御覧ください。会計別予算というのがあります。一般会計、今年489億円、このうち子供に使ってるのが数十億くらい。100億までいってません。一方で、特別会計があつて、介護保険特別会計78億円、後期高齢者医療特別会計11億円。これは高齢者専用のお金です。あとは、国民健康保険特別会計も高齢者率が30%超えですから、かなり高齢者にいっています。ということで、170億円これはいわば高齢者専用のお金です。その他に一般会計の中の高齢者のお金もありますので、決して高齢者のお金が少ないわけじゃないです。結構国のお金もかかってくるし、病気になった時に安心して医療を受けられるようになっていくことをご理解ください。5万人から10万人未満のところで、南相馬市の子育て部門で1位になりました。とても嬉しいです。でも、シニア部門もあるんです。3位に入っています。85ある中の3位に入っています。決して何もやってないわけではないです。しっかりと両方やっておりますので、ご理解ください。

○鈴木清教委員 私は高齢化社会において、少ない国民年金で特老に入ろうとすると、若い人の負担を増やすことになる。なのである程度助成があつていいのではないかという提言で申し上げたことでございます。以上です。

○高野会長 ほかに質問ないですか。では、今野委員お願いします。

○今野愛委員 南相馬市でもベーシックサービスの充実に要望したいと思っています。ベーシックサービスとは生きること、教育、医療、介護、そして死ぬことまでトータルで安心した人生が送れるサービスのことです。いま、老後には貯金1000万ないと生きていけないと言われていています。ですが、そんなに皆さんありますか。人は生きたいと思って生まれてくるわけではなく、自然に存在していると思っていますが、本当は国に要望しなくちゃいけないことかもしれないんですけど、も南相馬市がモデル都市になってできたら素晴らしいことだと思っています。そうすると必然的に、事業としてお金がかかりますよね。もし増税をしなくちゃいけないとなったときには、市民に、このベーシックサービスは対して安心できるものだと、納得できる提案をしていただくか。あるいは、国で年金積立金管理運用独立行政法人がありますよね。そこでお金を運用して増やす仕組みがあつて、それは成功していると思いますので、そういう金融のプロフェッショナルのチームなどを作って運用することで税金を集めなくても、お金を増やしていけるようなプロフェッショナル集団を作っていただいて何か取り組

みをしていただけたらすごくいいのかなと思います。

もう一つ、高校に進学するお母さんに聞いたんですが、高校に進学するときにスマホ、タブレット、大学へ進学する子はパソコンが必要になるんですね。それを購入するのに、パソコンだけでも10万かかるため、そのお金がのしかかってきて大変だっていう声を聞いたので、その辺高校に入るときにも助成があったらいいなということで要望を申し上げます。

- 市長 ベーシックサービスについて、その通りだと思います。それで、先ほどの冊子2ページ、初めにというところを書いてあるんですけども、中段あたり、「市民が安心して心豊かに楽しく過ごせる」、「暮らしやすいまちづくり」そういう意味では、安心して暮らすということにものすごくこだわって、当初予算を組んでいるつもりですし、全てのものは市民の皆さんが安心して暮らすために、企業誘致もそうです。河川の洪水対策もそうです。ベーシックサービスということ同じかなと勝手に思ってるんですけども、暮らしやすいまちづくりのためにしっかりやるというのが大きな基本です。そういう意味では必要なことは何でもやりたいと思います。

運用の話もありました。ありがとうございます。いままではゼロ金利でした。最近金利が出てきましたので、南相馬市も運用を始めました。今年で運用益1億円ぐらいかな。10年平均で年間1億ないし2億円ぐらい見込めるような形になりました。その財源をしっかりと、こうした暮らしやすいまちのための財源にしたいと思います。幸い他の自治体よりも基金が少し多い。復興事業とかもあるので、基金が3年でも残っていれば、その間でも運用すれば運用益出るので、銀行からアドバイスもらって、細かく運用を始めました。

そして高校入学でお金がかかることについて、ご意見として伺っております。それぞれいろんなときにお金もかかるので、すぐできるかはともかく、お金かかるようなときにちょっと手伝えるようなことになればいいんですが、今年初めの修学旅行を実質無料にするというようなことで、ちょっとお金がかかったときに市でお手伝いして、なだらかにできたらいいなと思います。高校についてはご意見として伺っておきます。

- 高野会長 時間に限りがありますので、原町区、小高区でほかにいらっしゃいますか。

- 堀内洋伯委員 資料2の16ページの5番の道路法面对策事業について、これは南相馬市全体に関わると思うんですが、県道を含め市道、山を切り裂いて作った道路関係なんですけど、山の脇の木が枯れていて風が吹くと倒れて道路に落ちてくる地域があります。市では道路パトロールさんが巡回していると思うんですが、どの辺まで把握しているのか。枯れた木を伐採して安全に通れるようにしてもらえるのか。その辺り聞きたいです。

- 建設部長 ただいまの法面对策事業関係の質問なんですけども、道路パトロールとし

まして、週に2回黄色いトラックが市内を順次回っております。その際に危険な木、枯れている木や倒れかかっている木を発見した場合には、まず市の敷地内の法面については対応をできるのですが、個人の土地に立っているものについては、市の方で対応ができないものでして、所有者を見つけて、所有者の方にお話をして切ってもらうようになります。

あとは、危険木対策ということで道路に倒れるおそれがある松くいと枯れ木については、市で対応いたします。この事業なんですけれども、去年小高区から始まりまして、今年から鹿島区と原町区の方に展開していく事業であります。まずは、交通量の多い市の幹線道路から、倒木がこれまで発生しているところを優先的に実施する形でスタートしております。

○堀内洋伯委員 小高区は、人口は少ないんですけれども、生活道路として使っているところが結構あります。道路パトロールをしてる姿は見ているのですが、素通りしている感じがあります。なので、その辺しっかりやってほしいと思いますよろしくお願いします。

○高野会長 続いて原町区でいらっしゃいますか。お願いします。

○伊藤佳江委員 資料には入っていないことですが、商店街空き店舗対策事業補助金について相談があります。私は原町駅前で、子育て支援事業を営んでいます。先ほど市長から出生率が過去最多とありました。現状私もそうなんですけれども、県外の方から移住してきて2歳の子供がおります。出生率が高いことは、すごく素晴らしいことだと思うんですけれども、やはりお母様方の受け皿といったところではまだまだ解決することがあるのかなと思っています。この補助金を申請したときに、サーモスペースというような括りなり、福祉事業の対象になるため、先ほどの補助金は対象外になるというようなご説明をいただきました。そこが納得していないです。今後このような社会問題に対して取り組むお母さんたちとか、子育て事業の人たちがどのようにこの南相馬市で盛り上げていけばよろしいのか教えていただければと思う。

○商工観光部長 空き店舗対策事業補助金についてご説明させていただきます。いまお話いただいたとおり、福祉関係の業務については空き店舗補助は対象にならないことに現行ではなっております。補助の内容につきましては、各団体、各商店会などの方々の意見を聞きながら、要綱の方は改善できたらと思っています。すぐできるといった回答はできませんが、協議させていただきながらどのような空き店舗補助をしていけるのか検討していきたいと思っています。

○佐藤慎治委員 恐竜化石探索調査のところで質問してるものなんですが、国立科学博物館に南相馬の化石が寄贈されるくらい、有名なことなんです。ですから、もう少し充実したものにしてほしいということが一つです。

回答一覧の2ページを見ますと、イベント等経費68万円にも関わらず、参加人数は1500人です。それに対して業務委託が1081万円です。南相馬では化石に詳しい方が昔からいるので、外部の方を依頼するよりも地元の人間をもっと活用してやった方が私はいいいのではないかなと思います。というのは以前に、榎原に「クジロイワ」があった。そこが壊され地形が変わって、芋煮会できるような会場がなくなってしまったんですね。知らない人間が手を入ると、本当に勿体ないことになってしまうので、長年化石発掘をやっている地元の方の意見を聞いてやっていただきたいということ、業務委託だとちょっとしたイベントなのに何千万円というお金がかかってきます。そういうことではなく、やはり地元の力を活用してやってもらいたいと思います。

そして、コンビニ交付について、インターネットで調べたときには、設置に2100万円。ランニングコストは100万から200万となってるんですが、そういうときに市としては相見積もりを取って予算執行しているのか、その辺教えてください。

○教育委員会事務局 地元の団体、地元で活躍される方を活用したらどうかということですが、事前質問No.2の②の回答に記載されておりますが、補足して説明させていただきます。以前から活躍されてます相馬中村層群研究会、そこから独立した化石塾という団体ございます。こういったところを活用しながらイベント実施したり、発掘のお手伝いをいただいたりと、これまで行ってきたわけですが、発掘においてもそういった地域のお手伝いできる方のご協力いただきながら、こういった活動を進めてまいりたいと考えているところでございます。以上です。

○市民生活部長 コンビニ交付について、マイナンバーカードを使いコンビニで取得できる体制を取っていますが、この部分につきまして相見積もりをとっていただきました。この制度につきましては、全て全国統一ということでJ-LISという国の機関がございしますが、そちらにいくらという形でと決まっております、その数字の積み上げの委託料となっております。以上です。

○市長 化石の専門家ではないですが、来週発表しますが、南相馬で3つの化石を市の文化財で指定します。発見した人は市内の個人の方です。市内に化石に詳しい方がたくさんいるということは、承知してます。できるだけそういう人と一緒にやっていきたいと思います。

○佐藤慎治委員 国際バカロレアの予算が751万円。協力研究を進め、ゴミの分別も学校に丸投げするとなると、厳しいと思うんです。ですから研究をするときには、市の予算で1人教師を加配するとかやっていただけないかと思います。以上です。

○教育長 ご指摘通り、学校側は忙しくなることが予想されます。実際に今年、原町第三小学校には、市の独自雇用の教員二名配置させていただきました。今後、中学校の方に進展するというようなことになった場合には、そちらの方もいろいろ考えていかなければいけないだろうなということを話し合っているところでございます。人を配置しつつ、教育環境の方も整えて、子供たちがバカロレアの探究学習に打ち込むことができるような学校にしていきたいと思っております。どうぞご理解ください。

○志賀由紀夫委員 今回の事前質問でロケットつきまして、二つ質問がありました。宇宙関連産業推進事業で1524万円となっておりますが、発射の拠点整備には地形、風向き、周辺の状況やどれぐらいの面積が必要とかそういったものを勘案して必要設備を設けてということになると思いますが、どんな必要な条件や設備が必要なのか。

そして、実際にここは拠点だよという場合はその土地については、市又は企業が整備するのか。期待しておりますので、その辺をお伺いいたします。

○商工観光部 宇宙関連の調査については実施しているところで、現時点でどういったものを作るかっていうことがまだ決まっているわけではないですけど、一番大きなものとしてロケット発射場や宇宙港の整備といったものが考えられるかどうかということもありますし、エンジンの練習試験場がある開発の際に有利ではとという意見を伺っております。例えばそういったものを作る場合、どういった条件がいるか、どういった地形が好ましいかと、そういったことを調査していくことが、今後の課題かなと思っております。具体的には誰が作るかっていうことに関しても、おかげにして誰が作るかを想定しているわけではないんですけども、かなりお金がかかるものではありますので、市が単独でそれを作ることは難しいと考えておりますので、こういった点に関しては民間の企業に率先して対応していただくことも考えております。大きな事業でありますので、市の単独というよりは、国や県の機関を巻き込みながら、どういったあり方かいいのか、企業いいものがあるかですとか、周辺の住民の方々のご意見、ご理解を徹底してから進めていくことを大前提として、この調査をやっているということで考えております。調査結果を踏まえて、皆さんにご意見を伺いながら行っていきたいと思っております。以上でございます。

○高野会長 これで報告事項①「令和8年度南相馬市一般会当初予算の概要について」質疑を終了いたします。

それでは、議事(2)のその他に移りますが、委員の皆様や事務局から何かありますか。

○星課長 それでは報告事項ということで、南相馬鹿島サービスエリア周辺開発及び新庁舎建設に係る部分について、担当課よりご説明をさせていただきたいのですが、

お時間を頂戴してもよろしいでしょうか。

○高野会長 事務局から、南相馬鹿島サービスエリア周辺開発及び新庁舎建設について、担当課より説明したい旨の提案がありましたので、担当課よりまとめて説明をお願いします。

○観光移住課 市では南相馬鹿島サービスエリア周辺開発につきまして、現在事業の検討を進めているところでございます。南相馬市サービスエリア周辺は、市内外の多くの方が訪れる重要な場所であると認識しておりまして、地域の魅力発信や交流拠点として大きな可能性を持っているエリアであると認識しているところでございます。本事業につきましては、これまで特に鹿島区地域協議会の皆様に適宜ご説明をしながら意見交換してまいりました。この度、本事業の担当が鹿島区から商工観光部の方へ移りまして、地域協議会の委員の皆様も改選されたことから、改めて三区の皆様にご説明の機会を設けさせていただければと考えているところでございます。詳しくは、5月の地域協議会にて、事業の背景、検討状況や今後の進め方などをわかりやすく整理した上でご説明させていただきたいと思っておりますので、その際ご意見をいただければというふうに考えております。以上、今回は予告のみとなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

○公有財産管理課 新庁舎建設事業の進捗状況について説明させていただきます。現在、実施設計業務の最終段階に差し掛かっております。予定としては、今年の5月末までに設計を完成させることで進んでいます。令和4年度基本計画策定以来、現庁舎が抱える様々な課題を解決するために、市民の皆様にとってより利用しやすく、親しみのある市の庁舎を目指して設計を進めて参りました。

基本スケジュールとしましては、令和8年までに着工、令和11年頃に開庁することを目指しているところです。本日は、具体的な資料を提示していませんが、次回開催の5月の各地域協議会におきまして、新庁舎の具体的な間取りなどもご提示できる見込みですので、どうぞよろしくお願い致します。以上となります。

○高野会長 ただいま説明がありましたが、どちらも予告ということですので、次回の各地域協議会で質問をしていただければと思います。ほかになければ、以上で本日の議事を終了いたします。それでは、進行を事務局にお返しします。

8.閉会

○星課長 高野会長ありがとうございました。それでは以上をもちまして、令和8年度第1回南相馬市地域協議会合同会議を閉じさせていただきます。皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。

令和8年度第1回南相馬市地域協議会合同会議 会議録

以上のとおり相違ありません。

鹿島区地域協議会会長 高野 邦弘

会議録署名人 今野 愛

令和8年度第1回南相馬市地域協議会合同会議 会議録

以上のとおり相違ありません。

小高区地域協議会会長 志賀 由紀夫

会議録署名人 門馬 保行

令和8年度第1回南相馬市地域協議会合同会議 会議録

以上のとおり相違ありません。

原町区地域協議会会長 平岡 勝成

会議録署名人 萱山 隆敏